年間授業計画

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　外国語　　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：　外国語　　科　目：　英語コミュニケーションⅠ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　G　組

教科担当者：（AB組：石崎、林、松井）（CD組：林、増岡、松井）（EF組：石崎、林、増岡）（GH組：石崎、増岡、松井）

使用教科書：（ いいずな書店　New Rays English Communication Ⅰ　　）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目標や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】コミュニケーションを行う目標や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとしている。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 do/does（単純形），be doing（進行形），have＋done（完了形）／動詞＋名詞，動詞＋前置詞＋名詞，動詞＋形容詞、接続詞（when，if，because，etc.）を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した準動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson1 Lesson2	○	○	○		○	【知識及び技能】 do/does（単純形），be doing（進行形），have＋done（完了形）／動詞＋名詞，動詞＋前置詞＋名詞，動詞＋形容詞、接続詞（when，if，because，etc.）を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した準動詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。また和製英語やカタカナ語の使用について自分の考えを英語で表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	8
	定期考査及び解説											2
	【知識及び技能】 have＋done（現在完了形）、関係代名詞、過去完了を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した時制や受動態、関係代名詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。topicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson3 Lesson4	○	○	○		○	【知識及び技能】 have＋done（現在完了形）、関係代名詞、過去完了を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した現在完了形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。また世界で活躍する日本人の活動を知り、片付けや芸術がもたらす人生の変化について考え、自分の考えを英語で表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	16
	定期考査及び解説											2
	【知識及び技能】 to不定詞、動名詞、分詞、分詞構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson5 Lesson6	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 to不定詞、動名詞、分詞、分詞構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した過去完了や関係代名詞、文型を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。また縄文時代や土偶など日本の歴史、霊長類学者ジェーン・グドールを通じて動物や環境問題について考え、英語で自分の考えを表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	16
	【知識及び技能】 助動詞、関係副詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすること	Lesson7 Lesson8						【知識及び技能】 助動詞、関係副詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている				

2学期	読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。		○	○	○	○	○	【思考力、判断力、表現力等】 理解した文型や関係副詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またスマートフォンを例に科学技術の発展が生み出す長所や短所、写真家・星野道夫の自然観を通して自然がもたらす人間性への影響や環境問題について考え、英語で自分の考えを表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	16
	定期考査及び解説											2
	【知識及び技能】 仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法や付帯状況の表現完了形、用いた受動態や助動詞の表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson9						【知識及び技能】 仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した仮定法や付帯状況の表現、完了形を用いた受動態や助動詞の表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。また20世紀の歴史を振り返り戦争のない未来をどのように築いていくか、イースター島のモアイを通じて20世紀の負の遺産として歴史的文化財の処遇など、答えのない問題について考え、自分の考えを英語で表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	16
	定期考査及び解説											2
3学期	【知識及び技能】 that節、強調構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 仮定法過去完了や過去を表す表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。	Lesson10	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 that節、強調構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した仮定法過去完了や過去を表す表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けた。またチャールズ・M・シュルツによる名作『ピーナッツ』を通じて、それぞれの登場人物の人間性に触れ、自分の好きな漫画やキャラクターについて英語で考えを表現した。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	○	○	○	20
												合計 100